



Ideas & Chemistry

2018.11.8

# 2018年度第2四半期 決算説明会資料



Catalyzing the Unimagined

想像を超える化学反応を。



[www.toyobo.co.jp](http://www.toyobo.co.jp)

## 東洋紡株式会社

# 目次

- I. 敦賀事業所の火災について**
- II. 2018年度第2四半期決算の概況**
- III. 2018年度業績見通し**
- IV. 2018年中期経営計画進捗**
- V. 信頼回復に向けて**

# I. 敦賀事業所の火災について

## お詫び

**2018年9月6日に、当社敦賀事業所で発生しました  
火災事故について、関係者の皆様には多大なるご迷惑、  
ご心配をおかけし、心からお詫びを申し上げます。**

## 火災の概要

- (1) 発生日時： 9月6日13:20頃 (9月7日17:30鎮火)
- (2) 火災概要： 敦賀事業所において火災が発生  
エアバッグ用原糸、“ブレスエアー”、衣料用ナイロンなどの  
製造設備が被災
- (3) 発生場所： 敦賀事業所 (福井県敦賀市呉羽町1-1)
- (4) 焼失面積： 約1万9千平方メートル
- (5) 被害を受けた資産： 固定資産、たな卸資産の損害額は未確定  
保険金の受取金額は未確定

今後、業績への影響額が判明次第、速やかにお知らせします

## Ⅱ. 2018年度第2四半期決算の概況

# 決算のポイント

## 上期実績

- 営業利益106億円(0.9%増)
- 成長ドライバーの“コスモシャイン SRF”、セラコン用離型フィルムは好調
- 包装用フィルム、エンブラ、エアバッグ用基布など、原燃料価格高騰の影響あり
- 当期純利益39億円(35.2%減)。火災損失の一部を計上

## 通期予想

- 原燃料価格、および火災の影響を踏まえ、営業利益230億円に修正。  
当期純利益は、火災の影響確定後に発表予定

(億円)

	2017年度			2018年度			直近予想 (18/8)
	上期	下期		上期	下期		
売上高	1,614	1,697	3,311	1,647	1,753	3,400	3,400
営業利益	105	134	239	106	124	230	250
親会社株主に帰属 する当期純利益	60	70	130	39	-	-	130

# 決算概要 PL・CF

(億円)

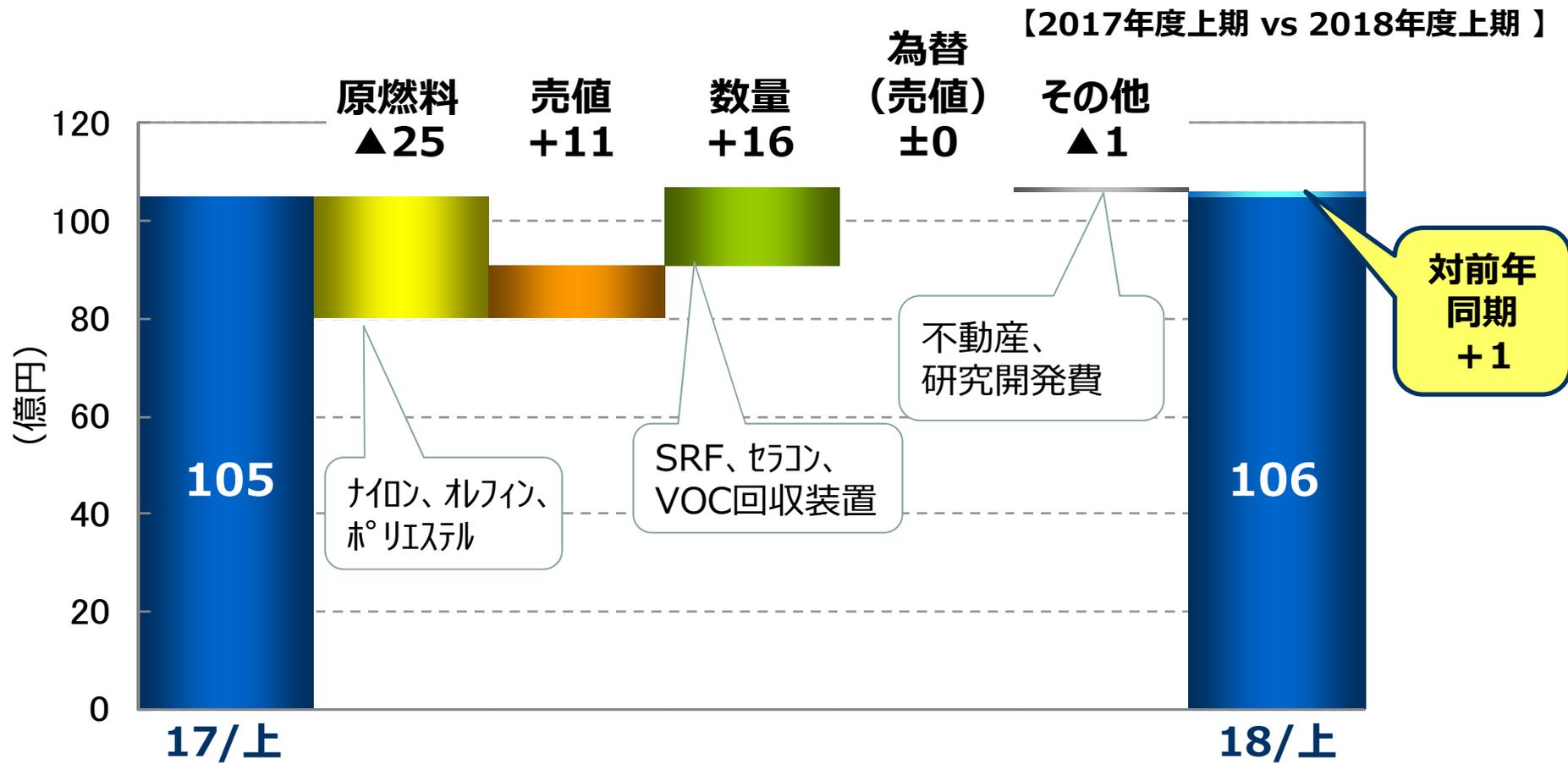
	2017年度		2018年度	上期増減	
	上期	下期	上期	金額	%
売上高	1,614	1,697	1,647	+33	+2.1
営業利益	105	134	106	+1	+0.9
(率)	6.5%	7.9%	6.4%	-	-
経常利益	91	113	87	-3	-3.7
特別損失	19	117	37	+17	+90.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	60	70	39	-21	-35.2
EPS (円)	68.1	78.8	44.1	-	-
減価償却費	78	79	78	+0	+0.3
設備投資	98	114	117	+19	+19.4
営業CF	128	96	52	-76	-59.1

■ 特別損失  
・火災による損失  
21億円

固定資産の  
滅失損失  
および  
操業休止期間中の  
固定費等

為替レート (円/US\$)	111	111	110
国産ナフサ (千円/kl)	38	46	51

# 営業利益の増減要因（前年同期比）



	17/上	18/上
為替レート (円/US\$)	111	110
国産ナフサ (千円/kl)	38	51

## 決算概要 BS

	(A)	(B)	(億円)	
	17/3末	18/3末	18/9末	
				増減 (A)→(B)
総資産	4,502	4,455	4,537	+82
現預金	323	260	245	-15
たな卸資産	728	713	767	+54
純資産	1,709	1,845	1,878	+32
自己資本	1,678	1,806	1,825	+19
(利益剰余金)	459	561	564	+3
非支配株主持分	31	40	53	+13
有利子負債	1,692	1,456	1,544	+88
D/Eレシオ	1.01	0.81	0.85	-

「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を適用しています

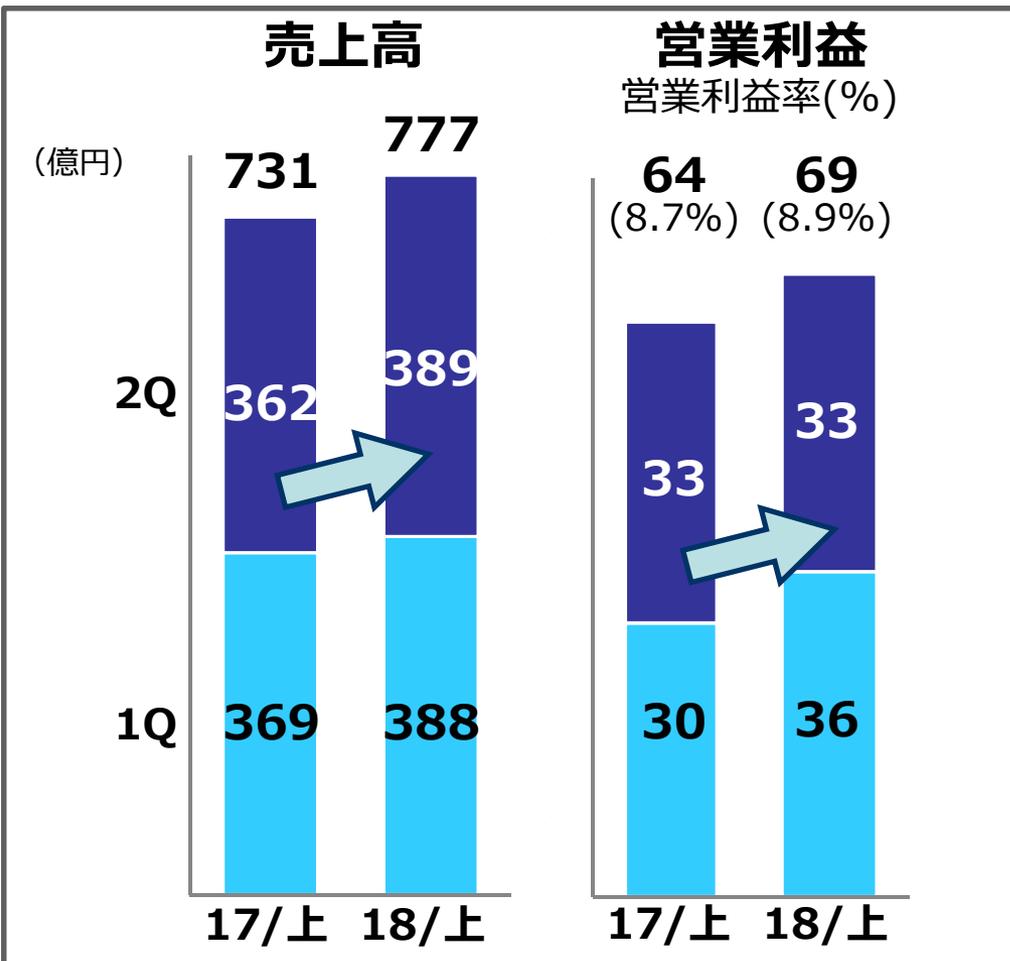
# 決算概要 セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			上期増減 (金額)
	17/上	17/下	18/上	17/上	17/下	18/上	
フィルム・機能樹脂	731	755	777	64	73	69	+5
産業マテリアル	305	329	327	22	20	19	-3
ヘルスケア	163	194	159	17	34	19	+2
繊維・商事	338	346	317	-2	8	1	+2
不動産・その他	77	73	67	15	13	11	-4
消去・全社	-	-	-	-12	-15	-13	-2
合計	1,614	1,697	1,647	105	134	106	+1

# フィルム・機能樹脂

“コスモシャイン SRF”、セラコン用離型フィルムは好調  
 包装用フィルム、機能樹脂は、原料価格高騰で苦戦



● **包装用フィルム**

- ・需要は堅調
- ・原料価格高騰の影響

● **工業用フィルム**

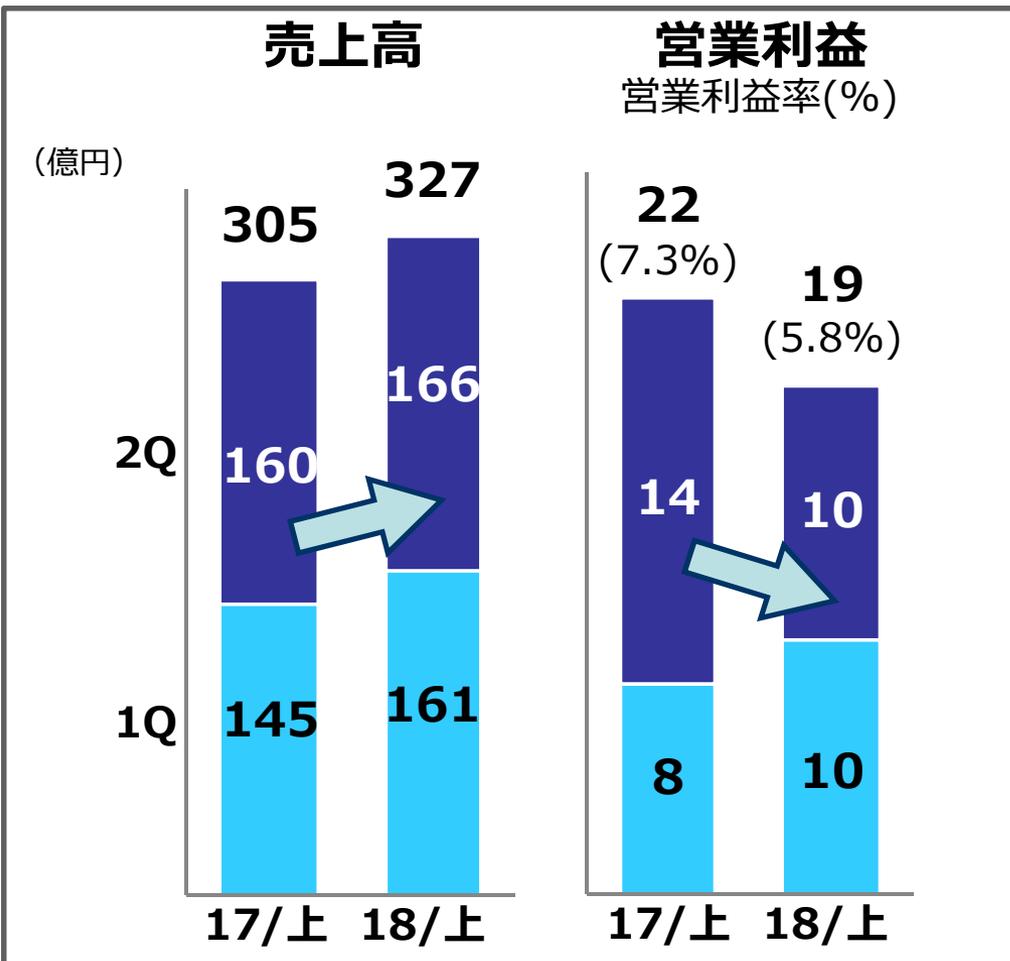
- ・“コスモシャイン SRF”、セラコン用離型フィルムは好調

● **機能樹脂**

- ・エンプラは、国内外で拡大も、原料価格高騰の影響
- ・“バイロン” “ハードレン”は、苦戦

# 産業マテリアル

エアバッグ用基布、生活・産業資材は、販売拡大  
原料価格高騰で苦戦

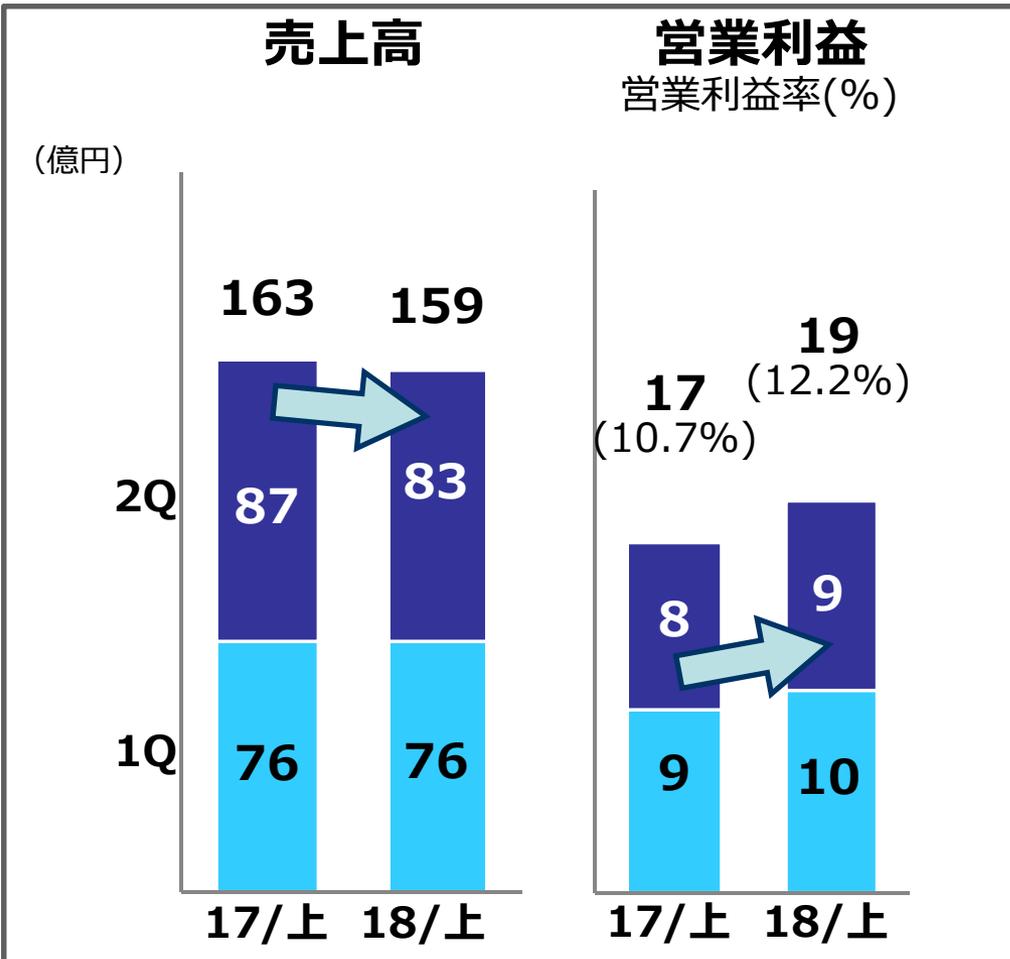


- **エアバッグ用基布**
  - ・海外顧客への販売を拡大
  - ・ナイロン66価格高騰で苦戦
- **生活・産業資材**
  - ・PPS素材は、中国向けを中心に販売回復
  - ・スパンボンドなど、原料価格高騰の影響
- **スーパー繊維**
  - ・“ツヌーガ”は、手袋用途が堅調
  - ・“イザナス” “ザイロン”は苦戦

# ヘルスケア

医薬は、新規案件の獲得に苦戦

診断薬用酵素、VOC処理装置は、海外で販売拡大



● バイオ

- ・診断薬用酵素が海外で拡大

● 医薬

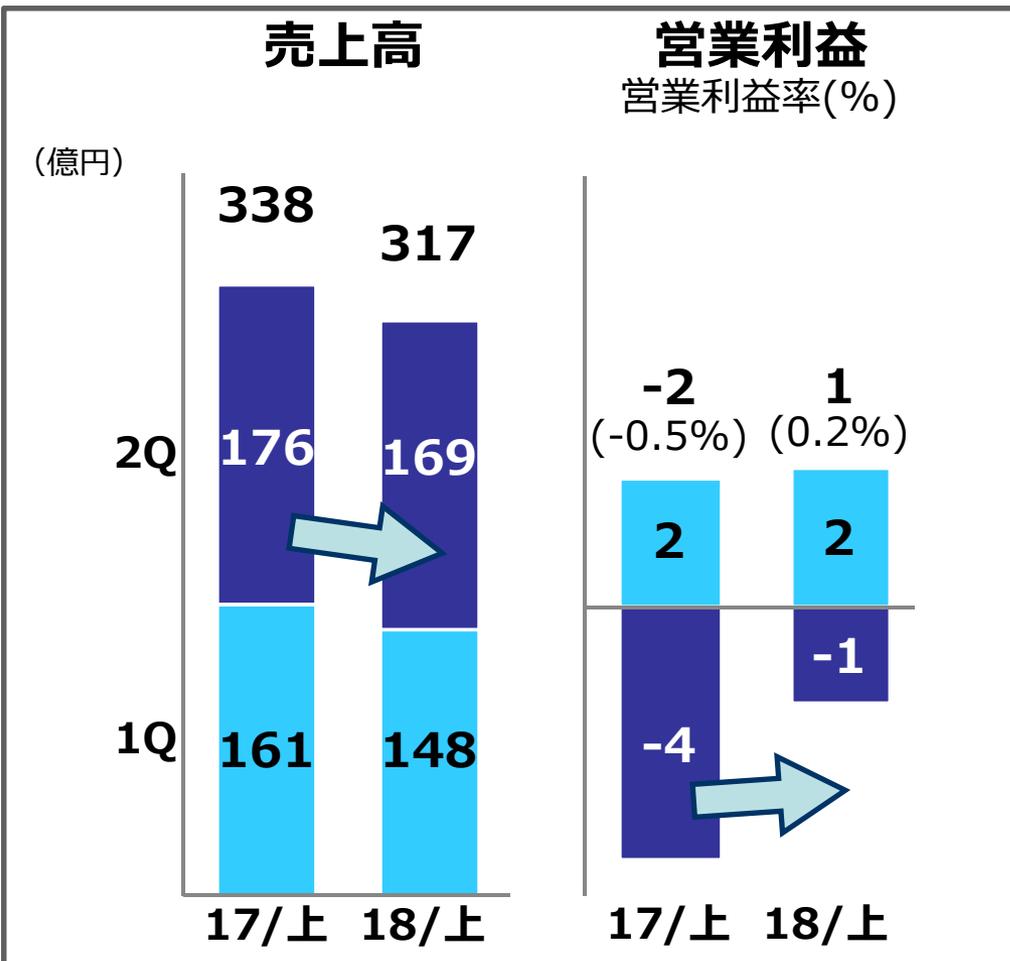
- ・FDA承認取得に遅れ
- ・新規案件の獲得に苦戦

● 機能フィルター

- ・アクア膜は、交換膜の受注遅れ
- ・VOC処理装置は、中国で好調

繊維・商事

中東向けトープは、市況の悪化で販売低調



● 東洋紡STC（繊維）

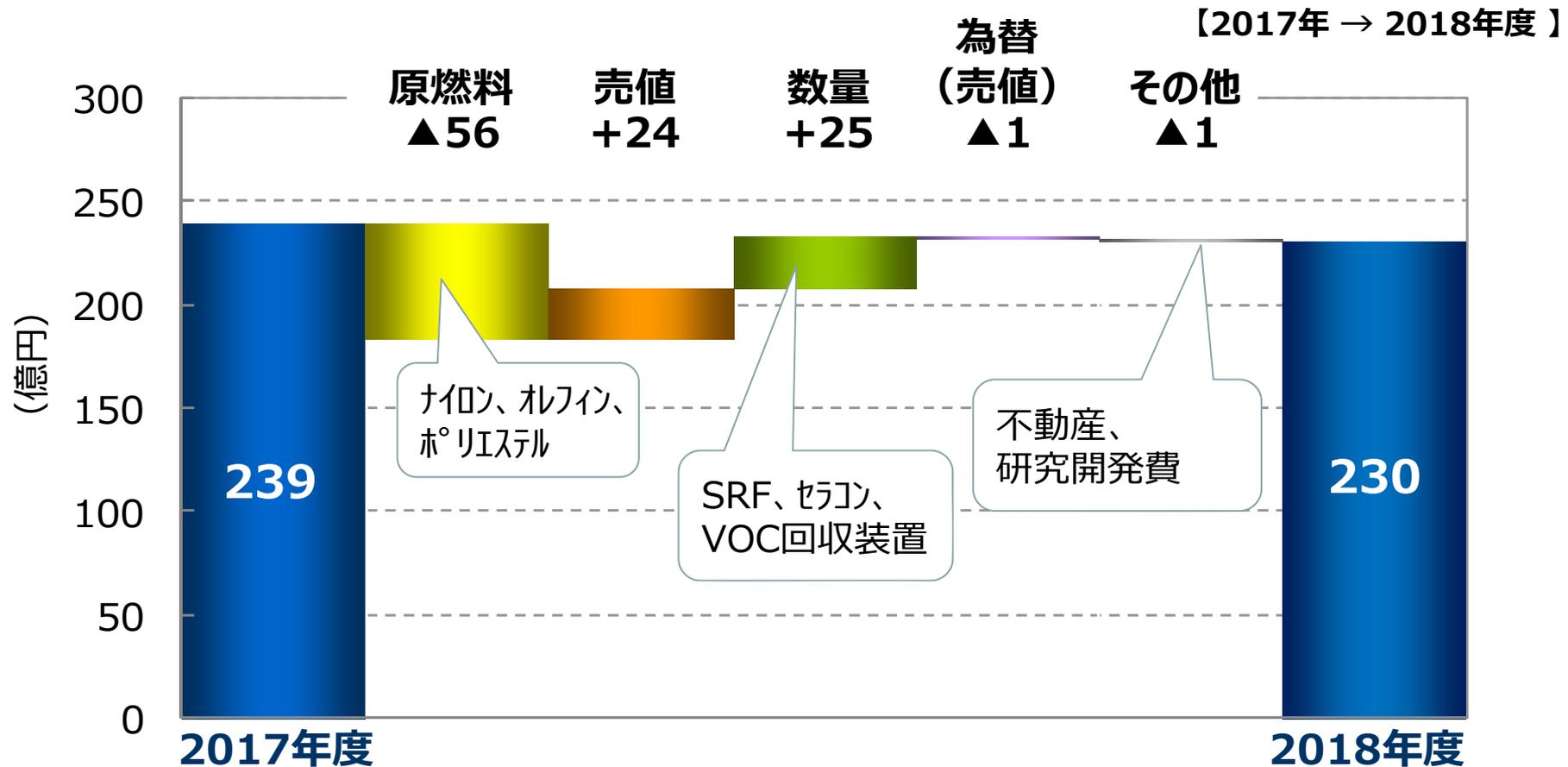
- ・中東向けトープは、市況の悪化により数量減少
- ・ユニフォーム用途は、販売が伸び悩む

### Ⅲ. 2018年度業績見通し

## 2018年度業績見通し

	2017年度 実績	2018年度			増減 ('17→'18)		(億円) 直近予想 (18/8)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,311	1,647	1,753	3,400	+89	+2.7	3,400
営業利益	239	106	124	230	-9	-3.9	250
(営業利益率)	7.2%	6.4%	7.1%	6.8%	-	-	7.4%
経常利益	204	87	93	180	-24	-11.8	215
親会社株主に帰属 する当期純利益	130	39	-	-	-	-	130
EPS (円)	146.9	44.1	-	-	-	-	146.4
減価償却費	157	78	79	157	+0	-	155
設備投資	213	117	123	240	+27	-	240
為替レート (円/US\$)	111	110	112	111			110
国産ナフサ価格 (千円/kl)	42	51	56	54			48

# 営業利益の増減要因



	2017年度	2018年度
為替レート (円/US\$)	111	111
国産ナフサ (千円/kl)	42	54

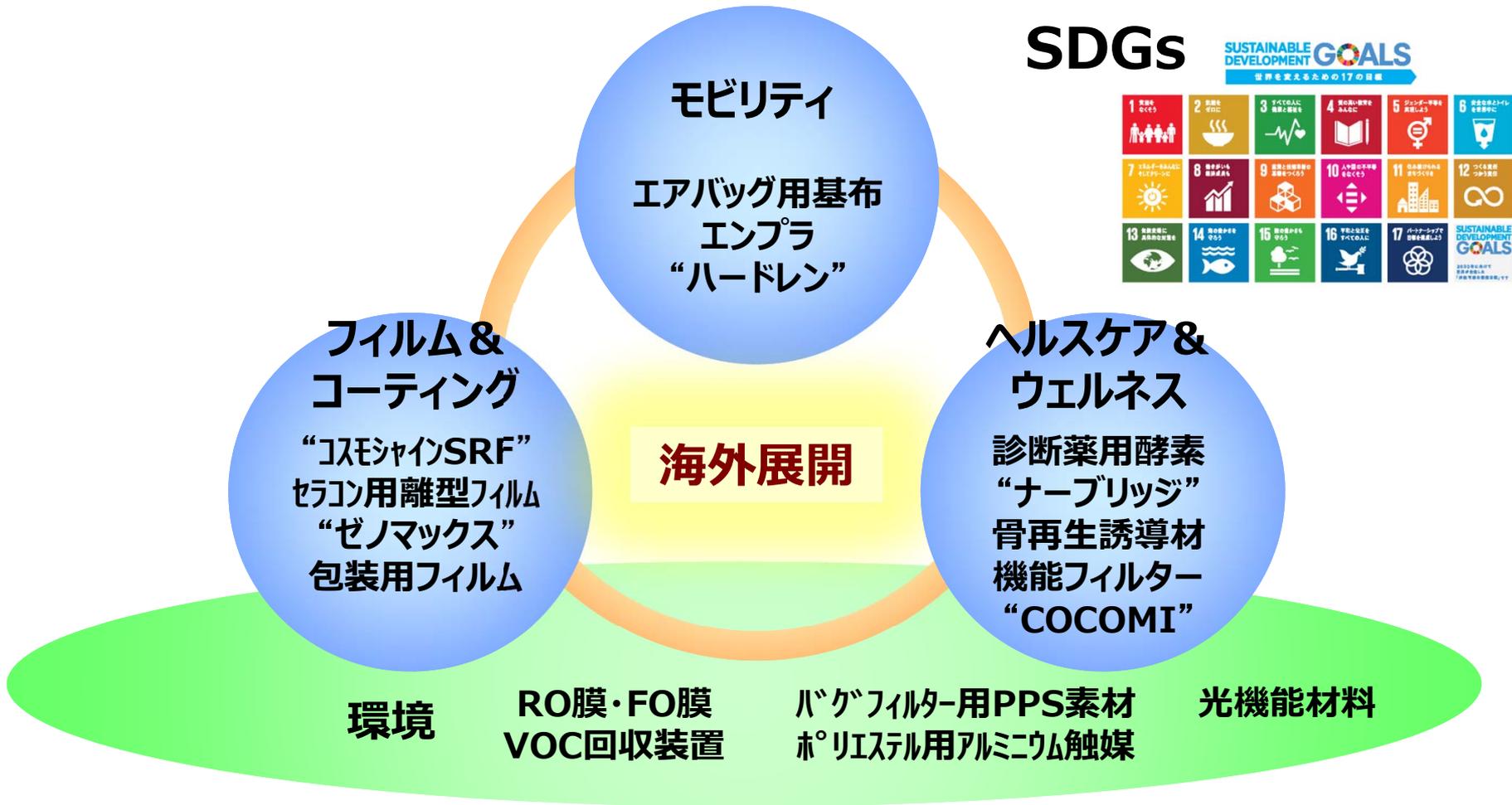
## セグメント別見通し

(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (18/8)
	2017年度 実績	2018年度 見通し	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減金額 ('17→'18)	
フィルム・機能樹脂	1,487	1,540	137	146	+9	147
産業マテリアル	635	670	43	35	-8	49
ヘルスケア	357	370	52	50	-2	55
繊維・商事	683	680	6	3	-3	6
不動産・その他	150	140	28	23	-5	23
消去・全社	-	-	-27	-27	-0	-30
合計	3,311	3,400	239	230	-9	250

## IV. 2018年中期經營計畫進捗

# 社会に貢献する価値創り 「順理則裕」



～ 共有価値の創造 Creating Shared Value (CSV) ～

環境、ヘルスケア、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけます

# フィルム & コーティング

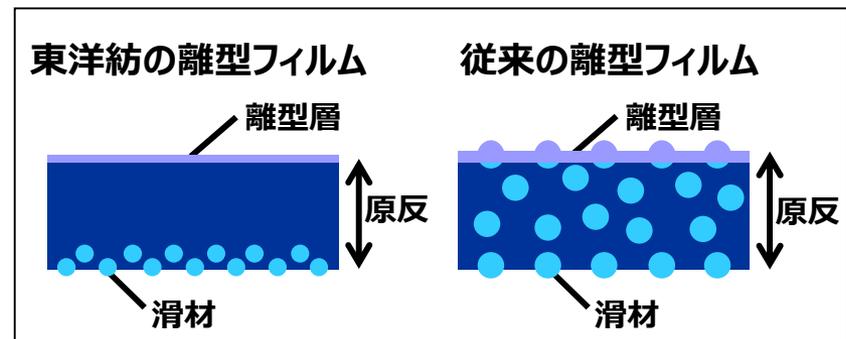
## ■ “コスモシャイン SRF”

- ・上期は約90%の大幅増収。18年度シェア約30%へ
- ・海外の液晶TV用途に販売拡大
- ・パネル大型化、オープンセル化、ベゼルレス化で、ポリエステル優位性顕著に



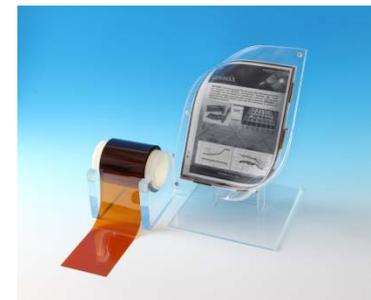
## ■ セラコン用離型フィルム

- ・上期は約40%の増収。  
18年度ハイエンド品のシェア約25%へ
- ・平滑性に優れ、ハイエンド品中心に拡販
- ・新加工設備が稼働予定（2019.7～）



## ■ “ゼノマックス”

- ・高耐熱性、寸法安定性に優れるポリイミドフィルム
- ・電子ペーパーディスプレイなどに採用
- ・新工場完成、試験生産開始（2018.11～）



# ヘルスケア&ウェルネス、環境に配慮した製品

## 【ヘルスケア&ウェルネス】

- 骨再生誘導材 “ボナーク”
  - ・2018年度内にPMDA承認取得予定
  - ・インプラント用途から



- 臨床検査装置
  - ・遺伝子検査装置 “GENECUBE”、  
尿中有形成分分析装置 “USCANNER(E)” を  
中国向けに販売開始 (2018.8～)



## 【環境に配慮した製品】

- “TOYOBO GS Catalyst”
  - ・重金属を含まない、アルミニウム系触媒  
“TOYOBO GS Catalyst”
  - ・生分解性樹脂 “DuPont APEXA”(デュポン社)
  - ・デュポン社から受託製造 (2018.10～)



## V. 信頼回復に向けて

## 信頼回復に向けて

**現在、関係当局と連携し、火災の原因究明を進めるとともに、他事業所の安全対策を含め、適切な再発防止策を講じています。**

**今後は、早期の復旧を進めるとともに、全社一丸となって、信頼の回復に努めてまいります。**

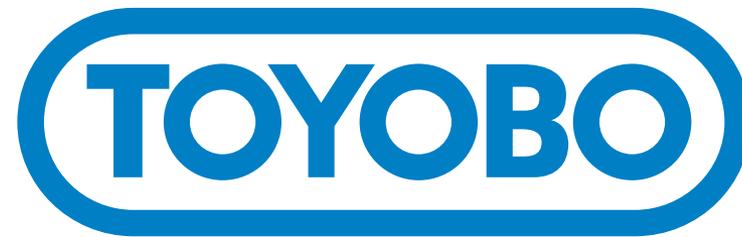
## ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

All Rights Reserved





*Ideas & Chemistry*

All Rights Reserved